



レジオネラ症について

レジオネラ属菌による細菌感染症で、主な病型として、重症の肺炎を引き起こす「レジオネラ肺炎」と、一過性で自然に改善する「ポンティアック熱」が知られています。レジオネラ属菌とは、自然界（河川、湖水、温泉や土壌など）に生息している細菌で、感染するとレジオネラ症を引き起こします。感染してから症状が出るまでの期間は、2～10日です。

●レジオネラ肺炎●

全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、咳や38℃以上の高熱、寒気、胸痛、呼吸困難が見られるようになります。まれですが、心筋炎などの肺以外の症状が起こることもあります。また、意識レベルの低下、幻覚、手足が震えるなどの中枢神経系の症状や、下痢がみられるのもレジオネラ肺炎の特徴とされています。

●ポンティアック熱●

突然の発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、またそれらは一過性的のもので、自然に治癒します。

感染経路と予防について

主にレジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（細かい霧やしぶき）の吸入などによって、細菌に感染して発症します。レジオネラ属菌はヒトからヒトへ感染することはありません。代表的なエアロゾル感染源としては、冷却塔水、加湿器や循環式浴槽、土壌などが報告されています。

災害ゴミの片づけや、がれきの撤去作業などでは、土ぼこり等を吸い込む危険性が高まります。

✓ 浴槽内やシャワーヘッドに、汚れやぬめりが生じないように定期的に洗浄しましょう。

✓ 家屋の清掃の際には、マスクやタオルで鼻と口を覆い、土ぼこり等を吸い込まないようにしましょう。



定点 種別	疾患名	状況	35週(8/24～8/30)		36週(8/31～9/6)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	—	21	0.91	40	1.74
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		18	0.78	6	0.26
	急性呼吸器感染症(ARI)		833	36.22	965	41.96
小児科	RSウイルス感染症		11	0.79	9	0.64
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	3	0.21	1	0.07
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	33	2.36	23	1.64
	感染性胃腸炎	—	56	4.00	48	3.43
	水痘(みずぼうそう)	—	1	0.07	0	0.00
	手足口病	—	7	0.50	1	0.07
	伝染性紅斑(りんご病)	—	1	0.07	2	0.14
	突発性発しん		18	1.29	19	1.36
	ヘルパンギーナ	—	6	0.43	5	0.36
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	1	0.07
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	0	0.00	6	1.20
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		0	0.00	2	0.40
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし